

平成28年度 議会事務局 方針書

議会事務局長 高橋 嘉

1. 議会事務局の使命（役割）

議会事務局は、議会の補助機関として、次のことを使命とします。

- ①議会の「力」(地方自治体としての意思決定、執行機関の監視・評価、議会側からの政策提案など)が十分に発揮され、円滑な議会運営が図られるよう議員の職務を補佐すること。
- ②議会の「力」を高めるため、議会と市民の連携構築をサポートすること。

2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

- ①市民から「親しみやすく頼れる議会」「説明責任を果たしている議会」と言われ続けるため、議会報告会の充実、市民との懇談会の開催など市民と議会をつなぐ多様な取り組みの展開が課題です。
- ②また、議会基本条例の目標実現に向けた支援及びその進捗状況を検証し、改革し続けるため、各課題解決へ向けた取り組みや政策法務能力等、事務局職員の更なる資質向上が求められています。

3. 平成28年度の『スローガン』

議会機能の強化を全力サポート！
—市民の負託に応え、行動する議会を目指して—

4. 年度目標となる方針（目標）

- ・ICT技術の積極的な活用による、市民に開かれた議会后押しします。
- ・市民の声を反映した政策提案ができる取り組みを支援します。
- ・事務局職員のスキルアップに向けた取り組みを推進します。

5. 重点取組項目

(1)	項目	ペーパーレスへの環境整備とICT化の推進
	取組内容	■タブレット端末の導入と、その効果的な活用に取り組みます。 ・タブレット端末を導入し、予算書や決算書、各種計画書等をデータで閲覧する環境を整備することによりペーパーレス化を図ります。 ・タブレット端末とクラウドによる本格的なペーパーレスでの議会運営を支援します。 *ICT…Information and Communication Technology (情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉)
(2)	項目	議会から市民への情報発信、市民から議会への情報受信の取り組み
	取組内容	■これまでの成果を検証し、より効果的なものとなるよう、継続的に取り組みます。 ・議会だより、横手かまくらFM、インターネットなどを活用した情報発信など広報活動の充実を図ります。 ・議会報告会など、議会と市民の直接的な意見交換の場の充実と開催を支援します。 ・市民の意見を把握し、議会で議論する仕組みとして、市民と議会との懇談会の開催を支援します。
(3)	項目	社会情勢の変化に適切に対応できる事務局
	取組内容	■「地方創生」に適切に対応できる事務局を目指して、市内外にネットワークを拡大し、組織活性化と職員の自己研鑽に努めます。 ・事務局内研修を実施し、議会運営のノウハウや社会情勢等必要な知識の習得に努めます。 ・全国の自治体から行政視察を積極的に受け入れることにより、自らの研修につなげます。 ・他市議会事務局との合同研修会や研修機関における専門研修に参加します。

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- (1) ペーパーレスへの環境整備とICT化の推進においては、9月21日に全議員へタブレット端末を配付し、操作・運用のための研修会の開催を支援した。また、タブレット端末の使用基準の策定にあたり、タブレット端末導入推進会議を4回開催し、成案を検討中である。
- (2) 議会報告会は7月19日から29日まで18会場で開催し、延べ363人の市民が参加した。一方で、市民と議会の懇談会は、よこて版DMOをテーマに市民9人が参加し、8月26日に開催しただけである。懇談会は今年度から初めての取り組みであり、市民への周知を徹底しなげればならなかったが不十分であった。
- (3) 議員活動をサポートする事務局職員のスキルアップのため、各種の研修会に参加している。また、事務局内においても、定例会前の勉強会を開催するなど自己研鑽に努め、円滑な議会運営や必要情報の習得に努めている。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針 【ギャップと対策】

- (1) タブレット端末の効果的な活用が図れるよう操作研修会を充実させ、本格運用となる10月27日の全員協議会（行政課題説明会）までに習熟度を向上させ、ペーパーレス会議の円滑化をめざす。また、本格運用までタブレット端末の使用基準を策定しなければならない。（10/11政策会議で決定）
- (2) 議会だより、かまくらFM、ホームページなどの情報発信ツールを効果的に活用しながら、市民と議会の懇談会の開催を増やしていく。同時に、対象となる市内の団体やグループの申し込みを待つだけでなく、行政課題など分野ごとに開催の呼びかけを検討していく必要がある。
- (3) 議員が政策立案するなど議会改革を推進するうえで、議会事務局の機能強化が求められている。政策業務能力を高め、議員活動を円滑・効果的にサポートしていくため事務局職員のさらなるスキルアップを図っていく。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題 【結果と成果】

(1) ICT化に関しては、ペーパーレス化が順調に進んだ。使用基準についても10月11日政策会議で決定された。今後もタブレット端末の操作・活用の習熟を支援し、真のICT化に向かいたい。

(2) 市民と議会の懇談会の開催実績が1回のみにとどまっていることは、周知不足が否めない。市政に対する市民との意見交換は必要性和重要性度を増しており、新年度早期の開催に向け検討し、徹底を図る。

(3) 議会事務局職員を対象とした全国市議会議長会、東北市議会議長会、秋田県市議会議長会、県南地域などの職員研修会へ積極的に参加した。合わせて、事務局内での情報共有や勉強会などでスキルアップに努めた。

※全員協議会や議員懇談会などの開催の手法について議員から指摘があった。オープンな場での会議開催が市民へ素早く正確な情報発信となることから、各種会議の開催にあたって留意することを確認した。